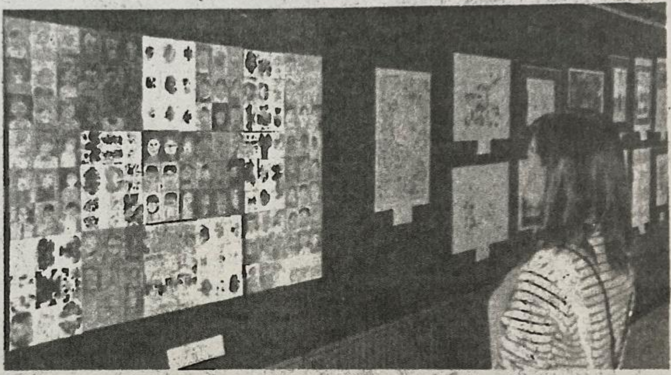
＜南日本新聞　令和6年11月2日(土)より＞

特支校生の力作 433点ずらり

カクイックス交流センター、4日まで

鹿児島県内の特別支援学校に在籍する児童生徒や園児が手がけた美術作品の展示会が10月30日、鹿児島市のカクイックス交流センター（かごしま県民交流センター）で始まった＝写真。16校から出品された絵や写真、書など433点が並ぶ。11月4日まで。

作品展は2021年に始まり4回目。コスモスが一面に咲く高原を水彩や色鉛筆で表した絵や、パリ五輪で活躍する選手の版画など、色鮮やかな作品が目を引く。



南薩特別支援学校高等部3年の髙﨑紀洋さんは、体育館の窓ガラスに映る自分の足元を撮影した。「背景に映る芝生の緑などがきれいに撮れた。たくさんの人に見てもらえたら」と願った。

姶良市から訪れた主婦の砂坂美香さん(42)は中学3年の息子が特別支援学校生。「ハンディキャップがあっても懸命に生きている姿が目に浮かぶような、パワーをもらえる作品が多かった」と話した。

（藤本わかな）

＜来場者感想アンケートより＞

- 子供たちの日頃の成果が良く出ていて，とても良かったです。学校内で一生懸命に頑張っている姿が目に浮かびます。ありがとうございました。
- 交流した時に友達になった子がいて，その友達の作品を見るのが楽しみで，その人の作品がとても素晴らしくて感動しました！また見たいです。
- すごくステキな作品が多くて，また来たいと思います。息子の作品が展示されていてうれしくて来ました。
- 児童・生徒の個性を生かした作品の数々を見ていて楽しくなりました。先生方のご指導の素晴らしさも感じました。作品とともに成長する子供達を見守りたいですね！ありがとうございました。
- 一人一人，のびのびとした作品で，「ほわん」とした気分になりました。来年も楽しみにしています。書道など本格的ですごかったです。
- 子供達の表現や使っている素材や絵の具など，アイデアが一杯で感動しました。子供達が制作している姿を見てみたいです！